

2 7月の見通し

野菜

各地で早い梅雨明けが予想されており、高温予報も出ている。そのため、平年とは出荷の流れが異なる可能性もある。

上旬に「キャベツ類」「レタス」、下旬に「トマト」「きゅうり」の流通量が増加する見通し。各品目ともに温暖な気温と定期的な降雨により生育は順調。

野菜全体では、入荷量は平年並、価格は前年をかなり下回る見込み。

果実

重量では「すいか類」、金額では「もも類」の占める割合が大きくなる見込み。

入荷量は、「すいか類」では上旬から長野、山形産の販売が始まり、潤沢な入荷量となる見込み。「ハウスみかん」がギフトならびに盆需要を見据えて入荷量が増える見込み。また、「日本なし」は生育が全国的に前進傾向にあり、関東産地は肥大も進んで箱数が増えると期待されるが、上旬から出荷が始まる九州産は生産者減やカメムシ害の影響で入荷量減の見込み。

価格では、「もも類」「ぶどう類」「すいか類」「メロン類」の入荷量が前年並となる見込みから、価格もおおむね平年並となる見込み。

果実全体では、入荷量は前年並で、価格は前年並～やや高めの見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (主産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
ねぎ	⇒	⇒	⇒	↓↓↓	主産県は茨城・千葉県で生育は順調。中旬ごろから北海道・青森県の出荷が始まる。入荷量はおおむね平年並の見込み。
きゅうり	↓↓↓	↓↓↓	⇒	↗	7月の主産県は福島・岩手県。関東産の春作が例年より早い6月下旬に切り上がり、東北産露地物の入荷量が増加する7月下旬までは端境となる見込み。
トマト	⇒	↓↓↓	↓↓↓	↓	主産地は北海道・青森県。夏秋産地が出揃うのは下旬で、それまでは端境となる見込み。生育は順調だが、面積が若干減少しており、それに併せて入荷量も減少する見込み。
大玉すいか	↗↗	↗↗	⇒	↗↗	主産県は山形・鳥取県。産地によって肥大状況はまちまちだが、順調な産地は多く、平年を上回る入荷量の見込み。
メロン類	⇒	↓↓↓	⇒	↗↗	主産地は千葉県、山形県。千葉県は開花期の悪天候で花飛びが発生し、日量不安定になるおそれがある。全体の入荷量は平年並の見込み。
			増加	減少	

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ↓↓	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↓	やや高, やや低: ±3~5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上